

## 被害防止計画目標評価報告書

## 1 対象地域及び実施期間

対象地域	鳥取県日南町
実施期間	令和2年～令和4年

## 2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業内容	対象鳥獣	事業量	管理主体	供用開始	事業効果
侵入防止策の設置	イノシシ	R2 ワイヤメッシュ柵 L=5,502m 電気柵 L=2,707m R3 ワイヤメッシュ柵 L=14,585m 電気柵 L=3,578m R4 ワイヤメッシュ柵 L=5,950m 電気柵 L=2,180m	日南町	R3. 2. 13 R2. 10. 22 R4. 3. 3 R4. 3. 4 R4. 11. 5 R4. 8. 14	イノシシによる農作物被害が恒常的にあることから、整備事業において、集落ごとに侵入防止柵の設置を進め、猟友会との連携による有害捕獲により、農作物の被害面積について目標値の7割を達成した。
有害鳥獣の捕獲	イノシシ ニホンジカ	シカ R2 6頭 R3 15頭 R4 25頭 イノシシ R2 123頭 R4 398頭	日南町	-	

## 3 被害防止計画目標の達成状況

被害防止計画目標	基準年(年度)の実績値(A)	目標値(B)	目標年(年度)の実績値(C)	達成率(%) (A-C)/(A-B)	備考
被害金額(千円)	2,802千円	1,961千円	2,389千円	49	
被害面積(a)	321a	225a	252a	72	

## 4 総合評価

令和2年度～令和4年度の3年間において、有害鳥獣による被害面積については、目標値の7割まで達成することが出来たが、依然としてイノシシや中型獣による被害が続いており、侵入防止柵の整備を継続して進めている。

侵入防止柵の整備により、整備済みの地域では被害が減少傾向にあるが、イノシシの個体数は減少し

ておらず、整備を行っていない地域での被害が増加している。

また、イノシシの捕獲数は近年横ばいであり、今後更に未整備地への侵入防止柵の整備や侵入防止柵周辺への捕獲檻設置による効果的な捕獲が必要である。

今後については、引き続き侵入防止柵の未整備地区への整備を進め、柵の経年劣化や維持管理が不十分な地域へは管理指導を継続し、被害低減を進めていきたい。

## 5 第三者の意見

イノシシの捕獲頭数は近年横ばいであり、十分な農業被害の抑制や目標達成には至っていないのが現状である。今後もさらにイノシシや中型獣による被害が増えると予想されるので、侵入防止柵の未整備地区への導入や柵の適切な管理、有害捕獲の推進を継続していくことが必要であると考え

(一般財団法人日南町産業振興センター 事務局長 高橋 幸男)

- (注) 1 被害防止計画目標の達成状況が低調である場合は、実施要領別記1の第6の2の(1)及び(2)に基づき実施要領(別記1)別記様式第4号の改善計画を作成し、知事に提出すること。
- 2 2の事業効果には、実施要領(別記1)別記様式第8号を参考に事業の実施により発現した効果を幅広く定量的に記入すること。なお、処理加工施設又は捕獲技術高度化施設を整備した場合は、当該施設の利用率も記入すること。
- 3 4の総合評価のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由も記入すること。
- 4 鳥獣被害防止施設の整備を行った場合には、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況並びに侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類、設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況等を別紙に具体的に記載し、添付すること。